

システム名	建築図面管理システム(ファイリング)	ユーザー	N設計
旧システムの問題点	図面・資料の紙による保存。物件台帳による検索のため時間が掛かる。一元管理が出来ておらず資料冊子が散逸している。保存場所の確保が大変。資料の劣化。図面資料の紛失に悩む。担当者の記憶によるファイリングでアヤフヤ。マイクロフィルムの劣化や傷のため復元性に難点。		
メリットなど	紙図面の電子化。ファイリングシステム導入によるデータの散逸の防止、劣化、保存場所の削減。検索時間の省力化。CAD図面へ容易に移行。業者から上がってきたデータを吸い上げ保存。一元管理が実現。保存場所の縮小化。建物の保守メンテナンスに発揮。事故災害時に早急な対応が可能。		

